

20150925 龍馬プロジェクト北海道研修

講師：JTB 北海道 観光開発プロデューサー柳原由実子

人が行ききするところにビジネスチャンスがある（地域交流ビジネス）

2016年3月、北海道新幹線開通し、道南から道央までは充実

旅行会社が地域に行って、地域の旅行商品を開発する

2003年ビジットジャパンキャンペーン

2008年観光庁

2013年訪日観光客 1000万人

2011年東日本大震災⇒4月は暇⇒6月頃から国内客の回帰⇒翌年より外国人回帰

安倍政権、地方創生に対する予算増

北海道の観光予算、約6億円

2兆7千億円の総予算

農業1兆円

地方創生によって北海道の観光予算30億円に

沖縄は100億円ピーク、今は75億円

2014年1300万人 2015年は1900万人を超える見込み

外国人はどこをまわるのか（ゴールデンルート）

宿泊1位東京 2位大阪 3位北海道

1341万人の外国人

2014年 1位台湾 2位韓国 3位中国

外国人旅行消費額 宿泊費30% お土産35%

団体旅行から個人旅行化が進んでいる

VISAの必要がなく、パスポートだけで来れる国が増えた

今後も外国人観光客は増え続ける見込み

オリンピックが7年前に決まりそこから10年は観光客が伸びるというデータあり

観光交流人口増大による経済効果

定住人口が一人減少したら、125万円の消費支出減少

国内旅行者（日本人）

日帰り観光客 15000円/1人 84人分

宿泊観光客 47000円/1人 27人分

外国人観光客

151,000円/1人 9人分

北海道観光入込客数

2013年 5310万人の観光客

人口は 540 万人

4600 万人が道内行ったり来たりして観光が成り立っていた

565 万人の道外からの観光客

115 万人の外国人観光客（2%） ※外国人観光客の 1 割

人口減少するので道外と外国人観光客の呼び込みが必要

3 割が台湾。路線の影響

2012 年よりタイ航空。タイからの観光客も伸びた

北海道は冬に客来ない

4 月 11 月は閑散期

消費額は 122,000 円 ブランド品ではなくお菓子類が多いため低い

宿泊地 1 位はだんとつで札幌 2 位函館 3 位登別（プロモーションに力入れている）

4 泊 5 日が多い

食を楽しみにして来る

期待度が高すぎて満足度が低いという実態ある

外国人、質よりも量が優先。かに食べ放題など

今後必要な対応

団体旅行から個人旅行ニーズへの対応

外国人旅行者はスマホを活用

無料 wi-fi 整備や ATM の設置、外国人観光案内所の充実、多言語対応

2 次交通の整備、通訳ガイドの不足、免税店の拡大、ムスリム旅行者への対応等

なぜ札幌が 1 位か？→それは、そこしか知らないから

広域観光ルートの開発と PR が必要

空港からまちまでの足とルート

旅行会社は調査をもとに商品化をできる（地域資源⇒観光資源化⇒商品化）

地域でターゲットを決める（どこの国に、誰に、アプローチをかけるのか）

そして、地域ブランディング。情報発信でインパクトあるプロモーションを

その土地の文化を感じられる夜のエンターテインメントが札幌にはない